

京都市病原体検出情報（病原体定点・月別）

京都市内指定医療機関（病原体定点）で採取された検体から検出された主なウイルス・細菌です。

2024年及び2025年の検出状況です。（2025年4月16日現在）

1 インフルエンザウイルス

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	インフルエンザウイルス A H1pdm09	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	インフルエンザウイルス B型	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	小計	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
2025年	小計	0	0	0	0									0

2 パラミクソウイルス

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	ムンプスウイルス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
2025年	ムンプスウイルス	-	-	-	-									0

3 ニューモウイルス

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	R Sウイルス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
2025年	R Sウイルス	-	-	-	-									0

4 アデノウイルス

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	アデノウイルス 2 型	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	3
	アデノウイルス 4 1 型	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	3
	小計	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	2	0	6
2025年	小計	0	0	0	0									0

5 エンテロウイルス

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	エコーウイルス 1 8 型	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	エンテロウイルス 7 1 型	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2
	コクサッキーウイルス A 6 型	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	3
	コクサッキーウイルス A 1 6 型	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	3
	コクサッキーウイルス B 2 型	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	コクサッキーウイルス B 3 型	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	小計	0	1	0	2	0	2	1	1	3	1	0	0	11
2025年	小計	0	0	0	0									0

6 ヘルペスウイルス

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	単純ヘルペスウイルス 1 型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
2025年	単純ヘルペスウイルス 1 型	-	-	-	-									0

7 ノロウイルス

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	ノロウイルス GⅡ(*)	3	1	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	9
	小計	3	1	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	9
2025年	ノロウイルス GⅡ(*)	-	3	-	-									3
	小計	0	3	0	0									3

8 ロタウイルス

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	ロタウイルス(*)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
2025年	ロタウイルス(*)	1	1	1	-									3

9 下痢原性大腸菌

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	腸管病原性大腸菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	腸管凝集付着性大腸菌	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
	その他の下痢原性E.coli	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	小計	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	5
2025年	小計	0	0	0	0									0

10 溶血性レンサ球菌

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2025年	A群溶血性レンサ球菌	-	-	1	-									1
	小計	0	0	1	0									1

(*) ウイルス検査は分離後同定することを基本としていますが、ノロウイルス、ロタウイルスは分離が難しいため遺伝子検査や抗原検出による同定を行っています。
なお、上記の結果は、検体採取日をもとに集計しており、他の資料と数値が異なる場合があります。